



大英産業株式会社

2025年9月期 決算説明資料

目次

- 1** 2025年9月期 決算ハイライト
- 2** 会社概要
- 3** 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4** 業績報告
- 5** 中期業績目標(2028年9月期)
- 6** トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7** 株主還元

■ 売上高は過去最高の390億円、全ての利益項目において大幅な増益

- ▶ 売上高390億円(前年同期比105%)、営業利益13億円(同144%)、経常利益9億円(同139%)、当期純利益6.3億円(同154%)と増収増益。

■ 分譲マンション事業が当期の業績を牽引

- ▶ 分譲マンション事業は、大型物件を含む463戸と一棟売り物件の引渡しにより、商品別の売上高構成比率が47%と当期の業績を牽引。

■ 法人や富裕層の投資需要が堅調、幅広い不動産商品の展開により、街づくり事業は増収増益

- ▶ 法人や富裕層向けの投資用戸建賃貸住宅、大型の土地、事業用不動産の販売が好調、幅広い不動産商品を展開し、不動産領域での多角化が進捗。

■ 3ヶ年成長戦略の重点施策で事業ポートフォリオ変革と利益成長の基盤を構築

- ▶ 住宅事業のワンストップ化や宿泊施設の運営、DX推進など重点施策により、利益成長と事業ポートフォリオの変革に向けた基盤を構築。今後は事業別運営とグループ経営体制でさらなる成長を目指す。

目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要**
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4 業績報告
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7 株主還元

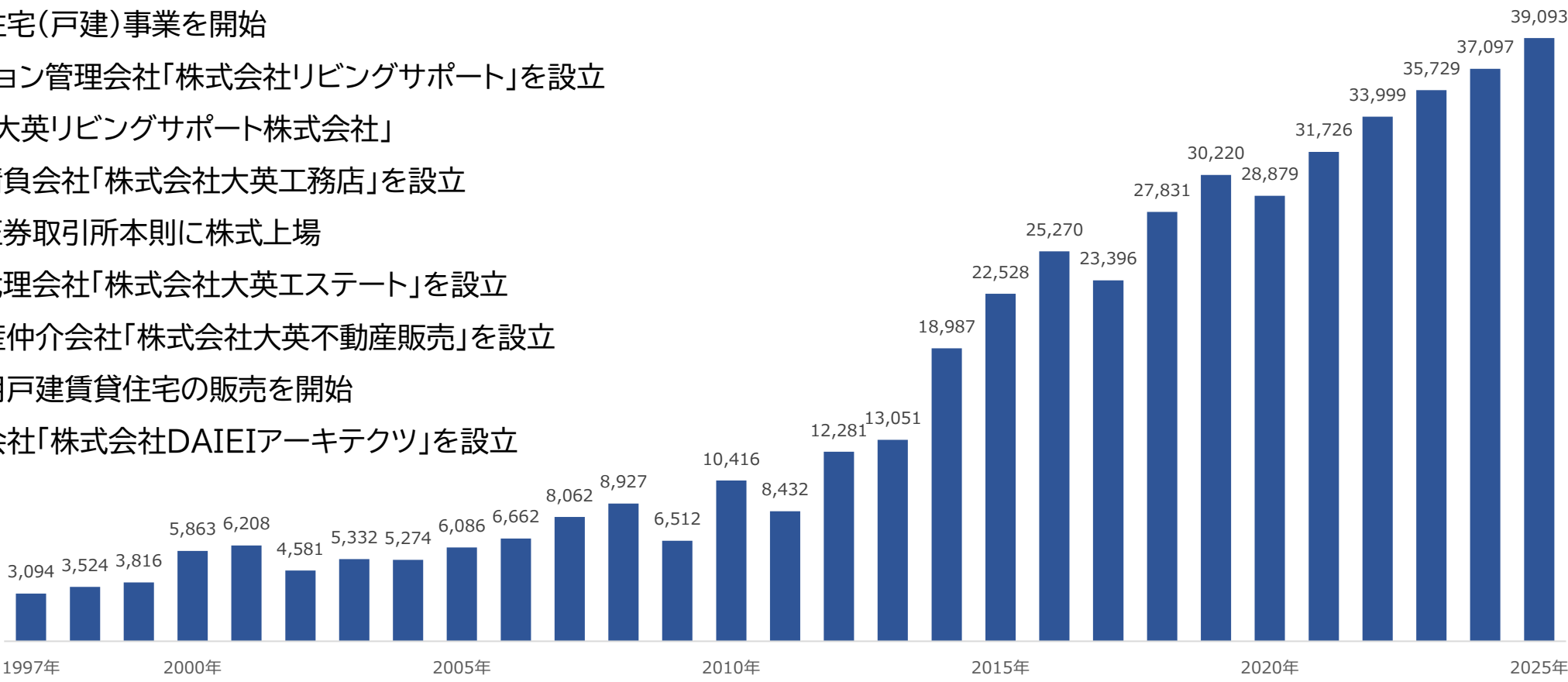
会社概要

商 号	大英産業株式会社
会 社 設 立	1968年11月28日
所 在 地	福岡県北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号
代 表 者	代表取締役社長 一ノ瀬 謙二
資 本 金	3億3,743万円(2025年9月末)
直 近 売 上 高	390億円(2025年9月期)
従 業 員 数	417名(2025年9月末)
子 会 社	大英リビングサポート株式会社 株式会社大英工務店 株式会社大英エステート 株式会社大英不動産販売 株式会社DAIEIアーキテクト

沿革

- 1968年 創業
 - 宅地の造成・販売、分譲住宅の販売を開始
- 1986年 分譲マンション事業を開始
- 2003年 中古住宅の販売、不動産仲介業を開始
- 2004年 リフォーム事業を開始
- 2009年 分譲住宅(戸建)事業を開始
- 2010年 マンション管理会社「株式会社リビングサポート」を設立
 - ※現「大英リビングサポート株式会社」
- 2017年 工事請負会社「株式会社大英工務店」を設立
- 2019年 福岡証券取引所本則に株式上場
- 2021年 販売代理会社「株式会社大英エステート」を設立
 - 不動産仲介会社「株式会社大英不動産販売」を設立
 - 投資用戸建賃貸住宅の販売を開始
- 2024年 建築会社「株式会社DAIEIアーキテクト」を設立

売上高推移
(金額:百万円)





経営理念

元気な街、心豊かな暮らし

ミッション

ライフスタイルに合った良質な「すまい」を提供し
持続的に発展する「まち」をつくる

経営方針

地域愛着経営



分譲マンション事業

九州・山口エリアにてサンパークシリーズ、
サンレリウスシリーズの分譲マンションを展開
2024年九州7県(沖縄県除く)の
分譲マンション新規供給ランキングNo.1



分譲住宅(戸建)事業

福岡・佐賀・熊本・山口の各県にて新築一戸建て住宅を展開

新築一戸建てのオプション工事や既存住宅のリフォームまで
トータルで提案するすまいサポート事業も展開



不動産流通(中古住宅の買取再販)事業

北九州市を中心とした福岡・熊本の各県にて
中古住宅を買い取り、リフォームを行い
付加価値を高めて再販する事業を展開

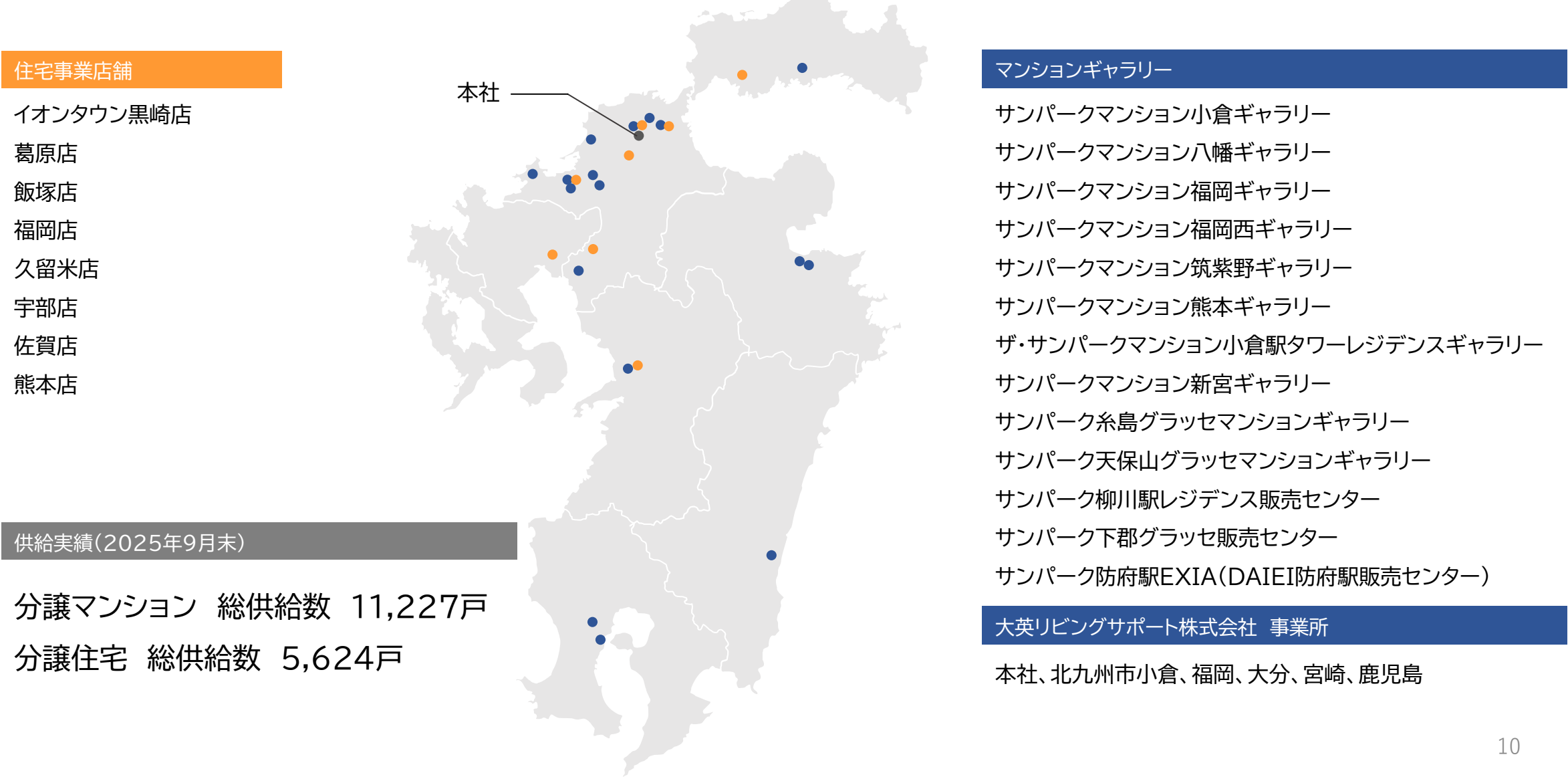


街づくり事業

投資用の戸建賃貸住宅、事業用不動産や大型土地の販売
賃貸アパートや宿泊施設の開発など
幅広い顧客層に向けた不動産商品を展開

事業展開エリア

九州・山口エリアにて「住宅・不動産」を中心とした事業を展開
「地域愛着経営」で持続的な成長を目指す



目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括**
- 4 業績報告
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7 株主還元

	2023年9月期		2024年9月期		2025年9月期	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
売上高(億円)	360	357	385	370	392	390
営業利益(億円)	13	10	11	9	13.2	13.0
営業利益率	3.6%	2.9%	2.8%	2.4%	3.4%	3.3%

2023年9月期～2025年9月期にかけて、「地域愛着経営」を基本方針とした3か年の成長戦略を推進。この期間、売上高は3年連続で増加し、増収基調を維持。営業利益は、2024年9月期に減少し一時的に減益となったものの、2025年9月期には再び増収増益へと転じ、利益面でも回復。住宅事業のワンストップ化や法人・富裕層向け商品や宿泊施設事業、ストック型事業の成長など、重点施策で一定の成果が得られた。

ただし、顧客ニーズや市場特性の多様化に十分対応しきれず、3か年を通じて目標達成には至らなかった。当初計画していた「エリア別組織」への移行は、顧客ニーズや市場特性の多様化に対応できないと判断し、計画を見直し。

今後は、事業ごとに最適なエリアや顧客層に合わせて柔軟に事業展開を行う「事業別運営」と、グループ経営体制のもとで各事業の強みを活かし、グループ全体で連携しながら顧客価値の最大化を目指す。

中期成長戦略 取り組み

経営方針と3か年成長戦略のもと、
当期においては、事業ポートフォリオの変革と利益成長に向けて下記の取り組みを実施。

重点 戦略	 住まいのワンストップ 体制の構築 住宅事業店舗にて住まいに関するトータル提案を実施、来場数は前年同期比118%に増加 WEBサイトにてワンストップ型の集客を実施、月間平均サイト閲覧数は11万	 事業領域の拡大 － 新規事業・新サービスの事業化 － 富裕層や企業向けの不動産商品の販売を強化し、街づくり事業は増収増益 インバウンド需要の高まりにより宿泊施設事業が拡大	 組織風土・人材戦略 建築会社「株式会社DAIEIアーキテクト」を新たに設立 従業員エンゲージメント調査を継続実施 評価はBBBランクと、平均値以上を維持
共通 戦略	 DXの推進 AIツール導入による業務効率化の推進 業務アプリ開発サービス「kintone(キントーン)」の活用による業務効率化の推進	 SDGsへの取り組み 環境配慮型住宅(マンション・戸建)の導入 北九州市産木材を使用した戸建住宅の累計建築数76戸 住宅端材のアップサイクルを行なう出張ことも大工の累計参加人数3900名超	 少子高齢化への対応 「健康経営優良法人2025」認定(5年連続) シニア層への認知拡大を目的としファッションショーイベントを累計4回開催 投資家向けセミナーの累計17回開催

目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4 業績報告**
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7 株主還元

	2024年9月期		2025年9月期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	37,097	100.0%	39,093	100.0%	105.4%
売上総利益	6,368	17.2%	6,776	17.3%	106.4%
販売費及び一般管理費	5,467	14.7%	5,470	14.0%	100.1%
営業利益	901	2.4%	1,305	3.3%	144.9%
経常利益	647	1.7%	901	2.3%	139.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	413	1.1%	639	1.6%	154.8%

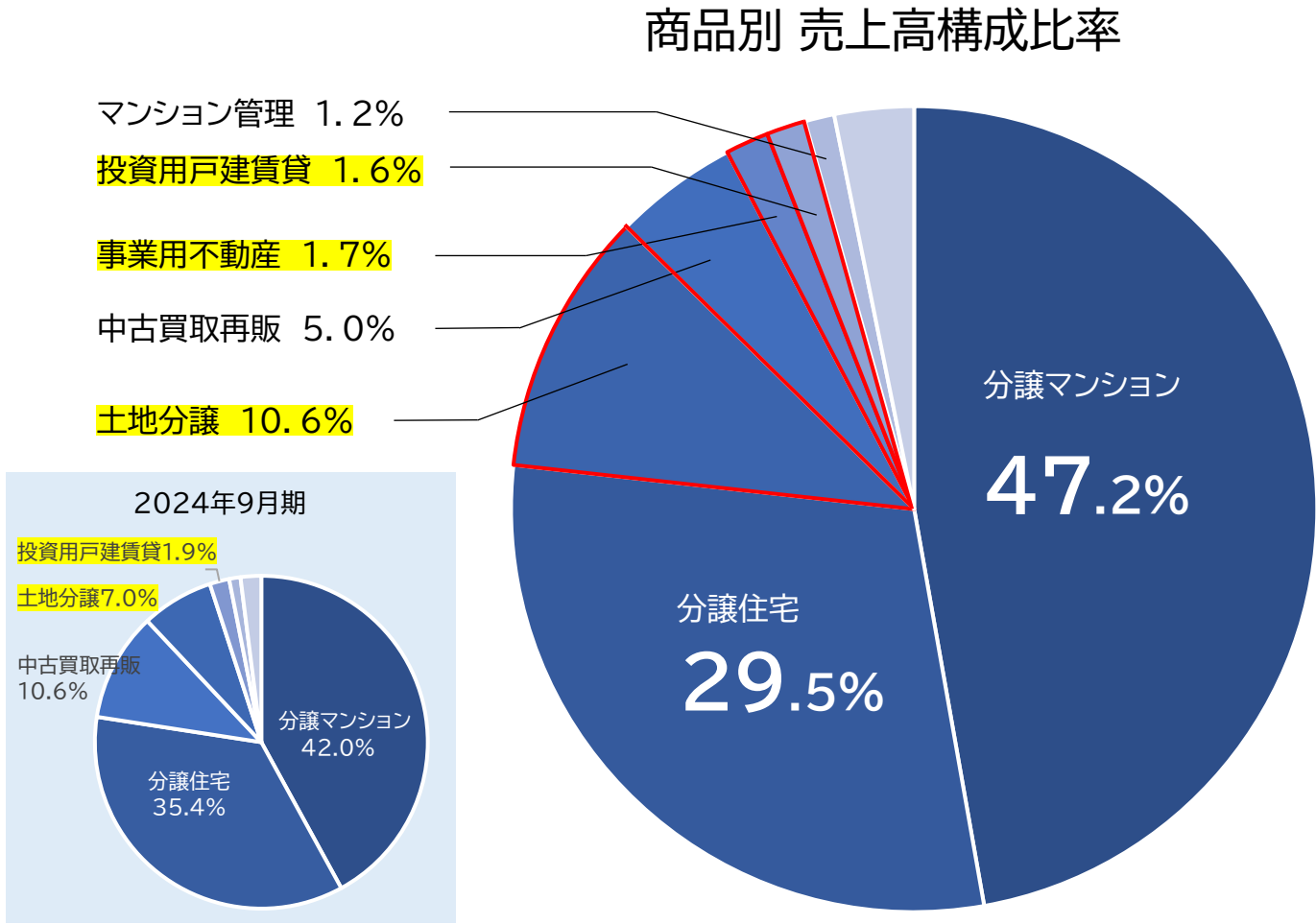
※金額:百万円以下切り捨て %:小数点第2位四捨五入

2025年9月期は、売上高は過去最高の390億円(前年同期比105.4%)を計上、営業利益は13億円(同144.9%)、経常利益は9億円(同139.2%)、親会社株主に帰属する当期純利益は6.3億円(同154.8%)と全ての利益項目で大幅増益。利益率も営業利益率3.3%(前年同期比0.9ポイント増)、経常利益率2.3%(同0.6ポイント増)、純利益率1.6%(同0.5ポイント増)と改善。

(金額:百万円)		2024年9月期	2025年9月期	増減額	前年同期比
マンション事業	計	16,080	20,420	4,339	127.0%
	分譲マンション事業	15,659	19,943	4,284	127.4%
	マンション管理事業	421	477	55	113.2%
住宅事業	計	20,938	18,561	△2,376	88.7%
	分譲住宅(戸建)事業	15,122	12,648	△2,473	83.6%
	不動産流通事業	4,181	2,172	△2,008	52.0%
	街づくり事業	1,179	2,952	1,773	250.3%
	すまいサポート事業	397	480	82	120.7%
	宿泊施設事業	3	133	129	4048.8%
	その他	53	203	149	378.1%
その他(温泉管理・賃貸管理)		78	110	32	140.6%
合計		37,097	39,093	1,995	105.4%

マンション事業は、大型物件や一棟売り物件の引渡しで売上高204億円(前年同期比127.0%)と増収。マンション管理戸数は4,886戸に増加。住宅事業は、分譲住宅・中古住宅の買取再販の売上戸数減少により185億円(同88.7%)と減収。街づくり事業は、法人・富裕層向け投資用戸建賃貸住宅や事業用不動産等の販売好調により売上29億円(同250.3%)と増収。

※当連結会計年度より「株式会社DAIEIアーキテクツ」を連結の範囲に含んでおり、住宅事業セグメントに計上



商品別 売上高(百万円)

分譲マンション	18,457
分譲住宅(戸建)	11,544
土地分譲	4,146
中古買取再販	1,942
事業用不動産	679
投資用戸建賃貸住宅	616
マンション管理	460
リフォーム	285
タウンハウス	265
宿泊施設	133
その他	562
合計	39,093

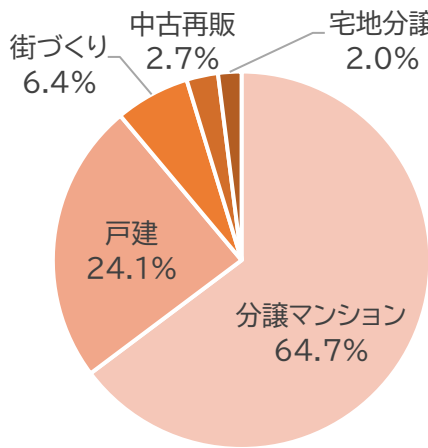
商品別の売上高構成は、分譲マンションが47.2%(前年同期比5.2ポイント増)と伸長。一方で、分譲住宅が29.5%(同5.9ポイント減)に低下。また、土地分譲、事業用不動産、投資用戸建賃貸住宅、宿泊施設の成長分野が、合計で14.3%と前年同期の8.9%から5.4ポイント増と、不動産領域での多角化が進捗。

2025年9月期 貸借対照表

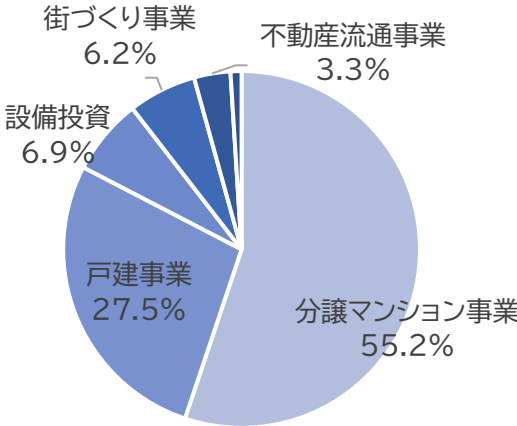
(金額:百万円)	2024年9月期	2025年9月期	増減額
流動資産 合計	39,257	43,046	3,788
現金・預金	11,332	9,933	△1,399
販売用不動産	6,971	8,691	1,720
仕掛販売用不動産	20,401	22,999	2,598
その他	552	1,421	859
固定資産 合計	2,417	4,218	1,800
有形固定資産	1,975	3,779	1,804
無形固定資産	37	24	△13
投資その他の資産	403	413	10
資産 合計	41,675	47,264	5,588

	2024年9月期	2025年9月期	増減額
流動負債 合計	25,487	28,540	3,053
支払手形・買掛金	5,609	3,832	△1,776
短期借入金	9,619	13,366	3,746
1年以内返済借入金	7,679	7,356	△322
その他	2,579	3,985	1,406
固定負債 合計	7,932	9,900	1,968
長期借入金	7,457	9,373	1,916
その他	474	527	52
純資産	8,255	8,822	566
負債純資産合計	41,675	47,264	5,588

仕掛・販売用不動産内訳(商品別)
合計 31,705百万円



有利子負債内訳(事業別)
合計 30,096百万円



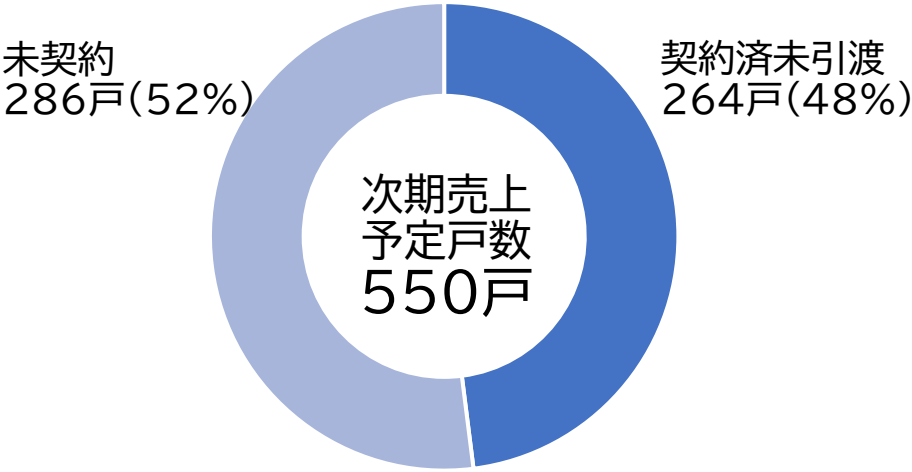
仕掛販売用不動産は、分譲マンション用地の仕入れにより増加。長期借入金は、宿泊施設、分譲マンション用地の仕入れにより増加。宿泊施設や賃貸住宅等の取得・運営が進み、安定収益としての固定資産が増加。

分譲マンション事業 業績

	2024年9月期		2025年9月期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	15,659	100.0%	19,943	100.0%	127.4%
売上総利益	3,161	20.2%	3,397	17.0%	107.5%
営業利益	1,517	10.0%	1,791	9.0%	114.0%

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

2026年9月期 売上予定戸数



大幅な増収増益で、2025年9月期の業績を牽引

分譲マンション事業では、8棟(うち7棟が福岡県内)が竣工し前期の竣工物件と合わせて463戸の引渡しが完了。特に、総戸数150戸の「ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス」は、九州北部の主要ターミナルであるJR小倉駅から徒歩4分という高い交通利便性を背景に想定を上回る販売進捗。加えて、熊本県での1棟売り物件も計上し、売上高は199億円(前年同期比127.4%)、営業利益は17.9億円(同114.0%)と大幅な増収増益。

2026年9月期の売上予定戸数550戸の内、264戸(48%)が契約済み。

分譲マンション事業

当期販売物件一覧(2025年9月末時点)

事業エリア	物件名	総戸数	竣工時期
福岡県	サンパーク朝倉街道駅グラッセ	40	竣工済【完売】
	ザ・サンパーク春日原駅レジデンス	36	竣工済
	サンパーク博多那珂グラッセ	55	竣工済
	サンパーク柳川駅レジデンス	59	竣工済
	サンパーク都府楼前駅グラッセ	45	竣工済
	ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス	150	竣工済
	サンレリウス小倉片野ネクスト	56	竣工済
	サンパーク黒崎駅レジデンス	56	竣工済【完売】
	サンレリウス三萩野	56	2026年9月期
	サンレリウス戸畑駅	56	2026年9月期
	サンパーク二日市駅グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク糸島グラッセ	39	2026年9月期
	サンパーク新宮EXIA West- I II,East	96	2026年9月期
	サンパークシティ香椎	90	2027年9月期
	ザ・サンパーク西新	24	2027年9月期
	ザ・サンパーク姪浜	42	2027年9月期
	サンパーク春日原駅グラッセ	33	2027年9月期
	サンパーク春日原駅EXIA	52	2027年9月期
大分県	サンパーク佐伯駅前レジデンス	44	竣工済【完売】
	サンパーク下郡グラッセ	55	竣工済
宮崎県	サンパーク延岡グラッセ	44	竣工済【完売】
熊本県	サンパーク新大江グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク大江東グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク桜町レジデンス	50	2026年9月期
鹿児島県	サンパーク天保山グラッセ	36	2026年9月期
山口県	サンパーク防府駅EXIA	66	竣工済

新規供給戸数・シェア(2024年)

対象エリア	供給総戸数	当社供給戸数	シェア
福岡県	3990	376	9.4%
九州7県	6673	440	6.6%
九州7県・山口県	7094	478	6.7%



2024年分譲マンション新規供給ランキング
▶ 福岡県の新規供給ランキングNo.1
▶ 九州7県の新規供給ランキングNo.1
(住宅流通新報社)

事業エリア別 売上単価(2025年9月末時点)

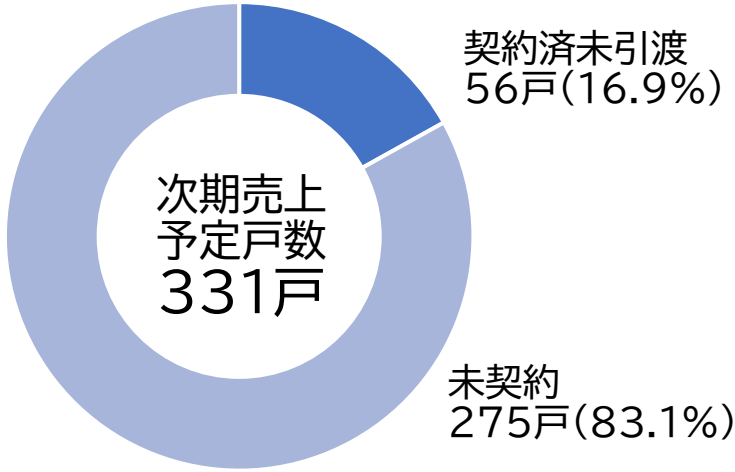
事業エリア	売上単価	売上戸数
福岡県	3,671万円	393戸
大分県	2,963万円	45戸
宮崎県	2,721万円	8戸
山口県	2,798万円	17戸
合計	3,553万円	463戸

分譲住宅(戸建)事業 業績

	2024年9月期		2025年9月期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	15,122	100.0%	12,648	100.0%	83.6%
売上総利益	2,209	14.6%	2,106	16.7%	95.3%
営業利益	919	6.1%	1,049	8.3%	114.1%

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

2026年9月期 売上予定戸数



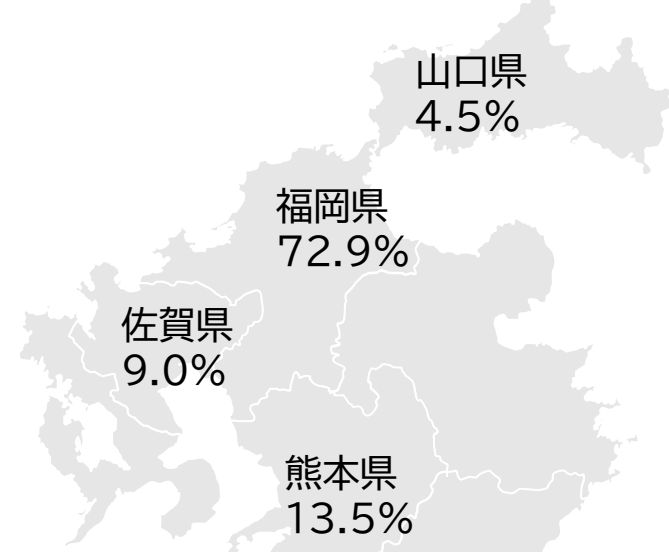
売上高は大幅に減少も、営業利益及び営業利益率が向上

分譲住宅事業では、売上高126億円(前年同期比83.6%)と売上戸数の減少により大幅な減収も、在庫数を適正に保ちつつ、厳選した土地の仕入れや、顧客ニーズに対応した建物の建築・販売を進めてきた結果、売上総利益率は16.7%(同2.1ポイント増)に向上。営業利益は10億円(前年同期比114.1%)、営業利益率は8.3%(同2.2ポイント増)と増益。また、新築戸建と中古住宅を一体で提案する「住まいのワンストップサービス」により集客効率が向上し、費用対効果の高い営業活動を実現。

2026年9月期の売上予定戸数331戸の内、56戸(16.9%)が契約済み。

分譲住宅(戸建)事業

事業エリア別 売上高構成比(2025年9月期)



事業エリア別 売上単価(2025年9月期)

事業エリア	売上単価	売上戸数
福岡県	2,825万円	290戸
佐賀県	3,067万円	33戸
熊本県	3,379万円	45戸
山口県	2,677万円	18戸
合計	2,903万円	386戸

商品ラインナップ



3つのデザインを軸に、外観・内装・外構までトータルコーディネートした家。



価格も暮らしやすさも叶えてくれる、こだわりをつめこんだ選ばれる続ける家。



ロジックとデザインを融合した、美的価値と快適な暮らしを提供する家。



遊びごころにこだわった、家族みんなが居心地の良い場所を見つかる家。



心地いい「ゆったりとした暮らし」を叶えてくれる、光あふれる平屋の家。

福岡県を中心に熊本県・佐賀県・山口県にて、顧客ニーズに合わせた5つの商品ラインナップを展開

不動産流通事業 業績

	2024年9月期		2025年9月期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	4,181	100.0%	2,172	100.0%	52.0%
売上総利益	429	10.3%	269	12.4%	62.7%
営業利益	24	0.6%	25	1.2%	102.3%

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

中古住宅を買い取り、リフォームを行い付加価値を高めて再販



before

after

売上高は大幅に減少、営業利益は前年同期比並みを維持

不動産流通事業では、市場環境の変化に対応し、事業規模を縮小したことで販売件数が減少し、売上高21億円(前年同期比52.0%)と大幅に減少。一方で、北九州市を中心とした福岡県、熊本県へ絞り込んだことに加え、販売費及び一般管理費の削減、さらに厳選した仕入れの推進により在庫の適正化が進み、営業利益額は前年同期並みを維持。

また、当期は中古戸建の仕入・販売を強化。商品構成は中古戸建27.8%・中古マンション72.2%、平均売上単価は中古戸建2,002万円・中古マンション1,649万円となった。

中古住宅市場は、利便性の高い立地の物件や価格の安い物件が選ばれる傾向にあるため、今後も厳選した物件の仕入れと顧客ニーズに対応したリフォームを行うことで、利益率の改善を図る。

街づくり事業 業績

	2024年9月期		2025年9月期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	1,179	100.0%	2,952	100.0%	250.3%
売上総利益	279	23.7%	617	20.9%	221.0%
営業利益	15	1.3%	231	7.8%	1468.2%

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

商品内訳	売上高(百万円)
土地分譲	1,234
事業用不動産	679
投資用戸建賃貸住宅	616
タウンハウス	265
その他	158

法人や富裕層の投資需要が堅調、幅広い不動産商品展開により増収増益

街づくり事業では、投資用戸建賃貸住宅、大型の土地、事業用不動産、山口県防府市の防府駅前におけるタウンハウスの販売を中心に、幅広い不動産商品を展開。売上高は29億円(前年同期比250%)、営業利益は2.3億円(同1468%)と大幅な増収増益。投資用戸建賃貸住宅は、都市近郊のファミリー層からの入居需要が底堅く、投資用不動産としての人気が高いことから販売は安定。大型の土地や事業用不動産は、ホテル建設や賃貸マンション建設、企業の新規出店等、事業拡大に伴う需要が堅調に推移しており販売は好調。

また、宿泊施設事業はインバウンド需要により、売上高1.3億円(前年同期は3百万円)を計上しており、街づくり事業と合わせて、今後も成長分野として、さらなる拡大・強化を図る。

街づくり事業の商品ラインナップ

事業用不動産・大型の土地分譲



ホテルや賃貸マンション、企業の新規出店など事業拡大を目的とした法人向けに、不動産及び大型の土地分譲を展開。

投資用の戸建賃貸住宅



投資用の戸建賃貸住宅を販売。安定した入居需要と高い収益性を兼ね備え、資産運用を目的とした法人・富裕層向けに展開。

賃貸アパート等の工事請負



賃貸アパート等の特定建築物の工事請負。土地分譲と合わせて工事を受注するケースも有り、用地提供から建築までをトータルで提案。

賃貸住宅の運営



賃貸住宅を保有し運営。IT人材と学生のコミュニティ醸成をコンセプトとした賃貸住宅等を運営。安定収益の拡大を図る。

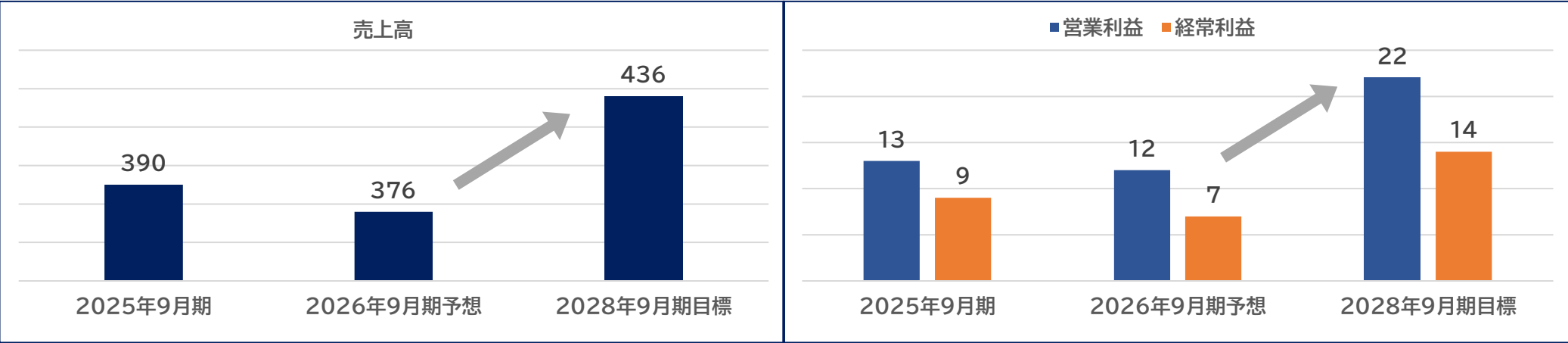
目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4 業績報告
- 5 中期業績目標(2028年9月期)**
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7 株主還元

2028年9月期(第60期)を最終年度とする中期業績目標を下記の通り策定

	2025年9月期実績	2028年9月期目標	成長率 (2025年9月期比)
売上高(億円)	390	436	111.7%
営業利益(億円)	13	22	169.2%
経常利益(億円)	9	14	155.6%
自己資本比率	18.7%	20.3%	—

※成長率(2025年9月期比)は億円単位で計算



既存の事業モデルの見直し、法人・富裕層向け事業の拡大による事業ポートフォリオの変革、DX推進等による生産性の向上に取り組み、利益率の向上と安定した財務基盤の構築を図ることで持続的な成長を目指す。

	2025年9月期実績(百万円)	2026年9月期予想(百万円)	前年同期比
売上高	39,093	37,641	96.3%
営業利益	1,305	1,279	98.0%
経常利益	901	754	83.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	639	466	72.9%

2026年9月期の業績見通しは、当期のような分譲マンションの大型物件の竣工、街づくり事業における大型の仕掛販売用不動産がないこと、さらに戸建住宅市場のさらなる縮小が見込まれることなどから、減収減益となる予想。

ただし、顧客ニーズに対応した価値提供を行なうため「既存の事業モデルの見直し」「法人・富裕層向けの事業拡大による事業ポートフォリオの変革」「DX推進等による生産性の向上」に取り組み、中期業績目標の達成を目指す。

目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4 業績報告
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)**
- 7 株主還元

TOPICS 1 新たに宿泊施設6棟をオープン



福岡県内にて6棟の宿泊施設を新規オープン、福岡市内の宿泊施設は、月平均稼働率96%と好調
次期以降に向けて、福岡市内にて宿泊施設の開発用地を3現場取得

TOPICS 2 JR防府駅前(山口県)の複合施設が竣工



JR防府駅(山口県)北口の八王子で開発を進めてきた複合施設「トレイル防府八王子」が竣工
機能的で利便性の高い居住空間を目指し、商業施設、賃貸住宅、タウンハウス、分譲マンションを集約

TOPICS 3 投資用賃貸アパートの工事受注、引渡が完了



福岡県北九州市にて、投資用の賃貸アパート「SUNVIA(サンヴィア)」の工事を受注し、引渡まで完了
投資家には堅実な資産形成、入居者には快適な暮らしを提供する新たな商品として展開

TOPICS 4 福岡市内の分譲マンション、販売開始6ヶ月で77%の販売進捗



TENJIN AREA

サンパークシティ香椎
SUNPARK CITY KASHII

GARDENS CHIHAYA
ガーデンズ千早

AEON MALL KASHIIHAMA
イオンモール香椎浜

JR KASHII STATION
JR「香椎」駅

NISHITETSU
KASHII STATION
「西鉄香椎」駅

FUKUOKA CITY
KASHII ELEMENTARY SCHOOL
福岡市立香椎小学校

FUKUOKA CITY
KASHII DAINI JUNIOR HIGH SCHOOL
福岡市立香椎第二中学校

福岡市内にて「ザ・サンパーク西新」「サンパークシティ香椎」「ザ・サンパーク姪浜」の販売が好調
「サンパークシティ香椎」は、販売開始6ヶ月で77%の販売が進捗

TOPICS 5 大型分譲マンションの管理業務リプレースを新規受注



当社の連結子会社であるマンション管理会社「大英リビングサポート株式会社」が福岡県北九州市にて総戸数195戸の大型物件「小倉D.C.TOWER」のマンション管理業務のリプレースを新規受注

TOPICS 6 地域最大規模のイベントにて「木造やぐら」を施工



福岡県北九州市の地域最大規模のイベント「北九州昭和夏祭り」にて「木造やぐら」を施工
住宅の大工工事で培った技術と経験を活かし、地域社会に貢献するとともに、事業領域拡大にも取り組む



TOPICS 7 GX推進の一環として早成桐(そうせいぎり)の植樹を実施

福岡県内にて、成長が早く、CO₂吸収力に優れ、伐採後も再生を繰り返す特性を持つ「早成桐」の植樹を実施
GX(グリーントランスフォーメーション)推進の一環として、今後も早成桐の植樹・育成を推進

目次

- 1 2025年9月期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 中期成長戦略(2023年9月期～2025年9月期)の総括
- 4 業績報告
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 トピックス(2024年10月～2025年9月)
- 7 株主還元**

株式の状況

取 引 所	福岡証券取引所本則(令和元年6月4日上場)
証 券 コ ー ド	福証本則:2974
発 行 株 式 数	3,316,500株
株 価	986円(10月31日時点)

単 元 株 数	100株
P E R (株 価 収 益 率)	5.11倍 ※(1)
P B R (株 価 純 資 産 倍 率)	0.37倍 ※(2)
1 株 当 た り 配 当 金	24.0円
配 当 利 回 り	2.43% ※(3)

※(1)PERは2025年9月期決算数値における、1株当たり当期純利益192.84円に基づき上記株価で計算
※(2)PBRは2025年9月期決算数値における、1株当たり純資産額2660.18円に基づき上記株価で計算
※(3)配当利回りは、2025年9月期配当予定24円、10月31日の株価にて算出

株主様への利益還元について

■ 配当金

2026年9月期(予想)	1株当たり 24円(予想) 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2025年9月期	1株当たり 24円 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2024年9月期	1株当たり 23円 中間配当(3月末日)11円、期末配当(9月末日)12円

■ 株主優待

2026年9月期(予想)	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2025年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2024年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード	500株～ 2,000円分クオカード

本資料について

本資料は、当社が現在入手している情報等に基づいており、
実現をお約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は経営環境の変化等により異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

経営企画室

TEL: 093-613-5659

<https://www.daieisangyo.co.jp/ir/form>